

参考資料

【まちの姿6 生涯を通じて学び、歴史が身近に感じられるまち】

- ①令和5年度狛江市市民意識調査
- ②狛江市のまちづくりに関するアンケート
(小・中学生アンケート)
- ③狛江高校まちづくりに関するアンケート
- ④狛江市基本計画策定に係る市民ワークショップ
- ⑤市民センター改修基本設計・新図書館整備基本設計市民説明会資料

【令和5年度狛江市市民意識調査】

○調査概要

1 調査目的

令和7年度を計画開始年度とする「後期基本計画」を策定する上で、市民の狛江市に対する思いやこれからのまちづくりに期待すること等を把握し、検討の基礎資料とするため、市民意識調査を実施した。

2 調査設計

- (1) 調査対象…満18歳以上の市民（令和5年7月1日時点）
- (2) 調査票数…2,500人
- (3) 抽出方法…狛江市住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法…郵送配布・郵送又はWeb回答
- (5) 調査期間…令和5年7月31日～8月22日（23日間）

3 調査項目

- (1) 回答者属性（問1～問6）
- (2) 狛江市について（問7-1～問8-3）
- (3) 狛江市総合基本計画施策について（問9～問15）
- (4) 市政に関する意見・要望等（問16）

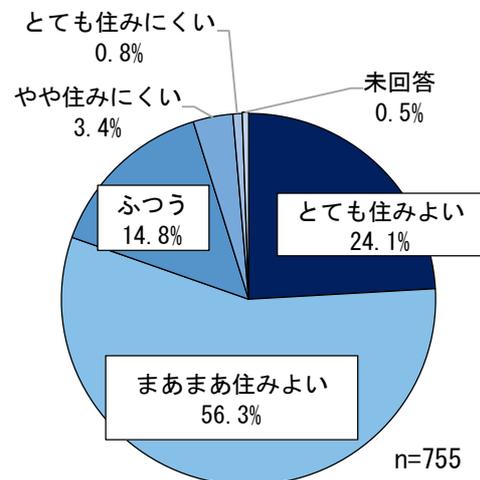
4 回収結果

755通（回収率30.2%）

○調査結果

問 狛江市は住みよいと思いますか。（番号を1つ選んで○をつけてください。）

	票数	構成比
とても住みよい	182	24.1%
まあまあ住みよい	425	56.3%
ふつう	112	14.8%
やや住みにくい	26	3.4%
とても住みにくい	6	0.8%
未回答	4	0.5%
合計	755	



問 狛江市が住みよい理由は何ですか。(とても住みよい、まあまあ住みよいと答え
た方) (3つまで選んで○をつけてください。)

		票数	構成比
1位	水と緑が豊かなまちだから	305	19.8%
2位	安心・安全に過ごせるまちだから	249	16.2%
3位	コンパクトさを活かしているまちだから	211	13.7%
4位	交通環境が良いまちだから	172	11.2%
5位	ごみの少ない、きれいなまちだから	88	5.7%
6位	子育てしやすいまちだから	59	3.8%
7位	健康に暮らせるまちだから	54	3.5%
8位	農業が盛んなまちだから	52	3.4%
9位	みんながやさしいまちだから	50	3.2%
10位	道路・排水が整備されているまちだから	47	3.1%
11位	お店が充実しているまちだから	44	2.9%
12位	地域のつながりが強いまちだから	39	2.5%
13位	にぎわいのあるまち(イベントなど)だから	32	2.1%
14位	美しい景観・まち並みのあるまちだから	31	2.0%
15位	その他	24	1.6%
16位	未回答	18	1.2%
17位	高齢者、障がいのある方、外国人などが住みやすいまちだから	16	1.0%
18位	歴史・文化財を大切にするまちだから	15	1.0%
19位	市民活動が盛んなまちだから	14	0.9%
20位	文化が育まれているまちだから	6	0.4%
21位	若者が多く活気のあるまちだから	5	0.3%
22位	スポーツが盛んなまちだから	4	0.3%
22位	教育環境が充実しているまちだから	3	0.2%
24位	生涯に渡り学び続けられるまちだから	1	0.1%
合 計		1,539	

問 狛江市が住みにくい理由は何ですか。(やや住みにくい、とても住みにくいと答えた方) (3つまで選んで○をつけてください。)

		票数	構成比
1位	お店が充実していないまちだから	19	21.6%
2位	道路・排水が整備されていないまちだから	9	10.2%
2位	その他	9	10.2%
4位	コンパクトさを活かしていないまちだから	6	6.8%
4位	交通環境が悪いまちだから	6	6.8%
6位	安心・安全に過ごせないまちだから	5	5.7%
6位	教育環境が充実していないまちだから	5	5.7%
8位	やさしさが足りないまちだから	4	4.5%
8位	高齢者、障がいのある方、外国人などが住みづらいまちだから	4	4.5%
8位	美しい景観・まち並みのないまちだから	4	4.5%
11位	子育てしづらいまちだから	3	3.4%
12位	水と緑が豊かではないまちだから	2	2.3%
12位	地域のつながりが弱いまちだから	2	2.3%
12位	にぎわいのないまち(イベントなど)だから	2	2.3%
12位	健康に暮らしづらいまちだから	2	2.3%
12位	ごみがありきれいではないまちだから	2	2.3%
17位	文化が育まれてないまちだから	1	1.1%
17位	若者が少なく活気のないまちだから	1	1.1%
17位	市民活動が盛んではないまちだから	1	1.1%
17位	未回答	1	1.1%
21位	農業が盛んではないまちだから	0	0.0%
21位	歴史・文化財に触れにくいまちだから	0	0.0%
21位	スポーツが盛んではないまちだから	0	0.0%
21位	生涯に渡り学び続けづらいまちだから	0	0.0%
合 計		88	

問 狛江市総合基本計画施策についてお聞きします。

それぞれの施策について施策が進んでいる（評価できる）と思うか、この施策を優先して（継続して）進めるべきだと思うかについて選択肢の中から1つずつ選んでご回答ください。

(1) 施策が進んでいる（評価できる）と思いますか	とても そう思う	ややそう 思う	どちら でもない	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない
6 生涯を通じて学び、歴史が身近に感じられるまち					
①地域における学びの充実	61	201	361	88	21
②芸術文化・スポーツの振興	76	243	305	85	27
③歴史への理解と継承	78	226	330	79	20

(2) この施策を優先して（継続して）進めるべきだと思いますか	とてもそう 思う	ややそう 思う	どちら でもない	あまり そう思わ ない	まったく そう思わ ない
6 生涯を通じて学び、歴史が身近に感じられるまち					
①地域における学びの充実	219	291	184	30	7
②芸術文化・スポーツの振興	206	290	195	35	9
③歴史への理解と継承	192	271	219	35	14

問 次期基本計画又は市政に関してご意見、ご要望などございましたら、ご記入ください。（抜粋）

- ・ちゃんとした、図書館があるといいと思います。
- ・図書館を早く、建設して、充実してほしい。毎回、調布の図書館まで行って借りているので苦労している
- ・大型の図書館を建設して、子ども・老人が集まれる様な楽しい…お茶をしたり…おしゃべりしたり…という施設があるとよいがー。
- ・だれもが心と体とも健やかで幸せに過ごせたらと願っています。それには一人ではなく人との関わりが必要です。小さいお子さんから高齢者まで自由にふれあい、交流ができる場所があったら良いと思います。年齢を超えて分かり合い、楽しみながら学びあい、それぞれが生きがいを感じる、そんな共生する社会を求めます。図書館の活用もあると思います。
- ・屋外のプールしかないので、屋内の温水プールがあるといいと思う。→大浴場もついていると、なお良いと思う 猛暑の子どものお遊び場として、大人の健康増進、高齢者の交流の場として、よいのでは。温水プール実現のためならふるさと納税しても良いなと思います。
- ・野球とかサッカーとか大きいグラウンドが必要なスポーツがもっと自由に出来る場所があるといいなと思います。

【狛江市のまちづくりに関するアンケート（小・中学生アンケート）】

○調査概要

（１）調査目的

令和 7 年度を計画開始年度とする「次期基本計画」を策定する上で、小・中学生が狛江にこれからどんなまちになってほしいと思うか等を把握し、検討の基礎資料とするため、小・中学生アンケートを実施した。

（２）調査設計

①小学生アンケート

- ・調査対象…市内小学校 5 年生
- ・児童数……605 人
- ・調査期間…令和 5 年 7 月 7 日～20 日

②中学生アンケート

- ・調査対象…市内中学校 2 年生
- ・生徒数……478 人
- ・調査期間…令和 5 年 7 月 7 日～20 日

（３）調査項目

①小学生アンケート

- ・どこの学校に通っているか
- ・「狛江」にこれからどんなまちになってほしいか
- ・そのためのアイデア

②中学生アンケート

- ・どこの学校に通っているか
- ・大人になっても「狛江」に住み続けたいか（中学生のみ）
- ・その理由
- ・「狛江」にこれからどんなまちになってほしいか
- ・そのためのアイデア

（４）回答結果

- ①小学生アンケート 432 件（回答率 71.4%）
- ②中学生アンケート 376 件（回答率 78.7%）

小学生

問 狛江にこれからどんなまちになってほしいと思いますか。

		回答数	構成比	前回順位
1位	ごみが少なく環境(かんきょう)にやさしいまち	213	17.3%	2位
2位	犯罪(はんざい)や交通事故が少ない安心して暮らせるまち	210	17.0%	1位
3位	近所の人や友だちとのふれあいが多く仲(なか)が良いまち	162	13.1%	6位
4位	多摩川や野川、畑や公園などの自然が感じられるまち	153	12.4%	4位
5位	地震や台風などの災害(さいがい)に強い安全なまち	110	8.9%	5位
6位	スポーツや外で遊べる場所が多いまち	92	7.5%	3位
7位	お年寄りや障(しょう)がいのある人がいきいきと過ごせるまち	86	7.0%	8位
8位	勉強したり室内で友だちと話したりできる場所が多いまち	79	6.4%	7位
9位	バスや自転車で市内を移動しやすい便利なまち	47	3.8%	9位
10位	狛江産の野菜や果物(くだもの)などがたくさん食べられるまち	26	2.1%	10位
11位	商店街などのお店が多くて活気(かっき)があるまち	23	1.9%	11位
12位	絵や音楽に気軽にふれることができるまち	20	1.6%	12位
13位	そのほか	11	0.9%	13位

問 えらんだまちになるために、あなたが思いつくアイデアがあれば詳しく教えてください。(抜粋)

【9 スポーツや外で遊べる場所が多いまち】(一部抜粋)

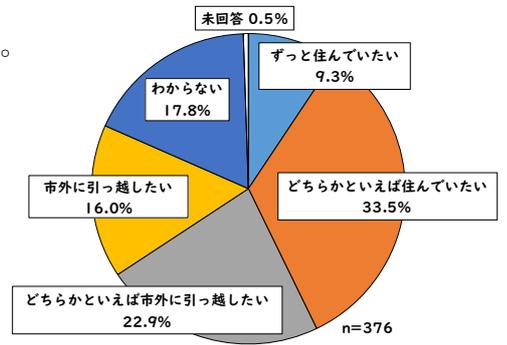
- ・きたみこうえんみたいなばしょがほしい
- ・狛江にはバットを使って良い場所がなかなかないので、多摩川の空き地とかにグラウンドを作って欲しいです。またもしよければ球場もを作って欲しいです
- ・公園をふやす。ボールもありの所をつくる。
- ・狛江市にあった、竹林やたくさん畑がなくなり、ほとんどが家になってしまっている。畑などの自然を家に変えるなら、公園なども作ってほしい。
- ・公園の遊具を増やしてほしい
- ・狛江は家が多いから空き地を公園にする。

- ・もっと、子供が遊べる大声を出したりできる公共の公園が欲しい。サッカーや球技が思いつきできすんなり入れる公園が欲しい
- ・狛江駅の広場を大きくしたりスポーツが出来る施設を増やす。
- ・公園や室内でも楽しくあそべる所を多くして欲しいです。
- ・スポーツができるような広い場所があってほしい。ボールが使える公園や広い場所があってほしい。
- ・空き家や、使われていない場所、河川敷などを整備して公園にする。
- ・新しい家をたくさん作らずに公園を追加する・募金で公園を作る
- ・小学校の通学範囲の端にも公園をつくる。
- ・ボール遊びができるところなどを、ふやす。
- ・もっと余ってる土地にサッカーじょうを作ってほしい（なるべく人工芝）
- ・初心者でも運動ができる街にしたい。
- ・ボール遊びができる広い公園を作ってほしい。
- ・遊具を作る。
- ・公園をたくさん作る
- ・あまり使わない所に作る
- ・市の大きなスポーツエリア的なものを作る（放課後遊べる）
- ・使っていない土地や空き地などを公園にかえる
- ・できればですけどスポーツや外で遊べる環境が欲しいです。
- ・ボール遊びができる公園を作って欲しいです
- ・空いている土地などに公園などを作ったりする
- ・自然やスポーツをする場所を増やす
- ・(外で遊んでみんなが健康になれる。)公園を増やす。
- ・公園に、サッカーゴールなど、ゴールを設置する
- ・もっとボールが使える公園を増やしてほしい
- ・ボール遊びできる公園を増やしたり、公園を少し広くして遊具を作る。日陰になるように水飲み場の上に屋根をつける。
- ・家とかがなくなって、今なにもないところに、広場とかを作る。
- ・学校から帰ってきたら瞬間で遊びに行くと多い町になると思う。
- ・公共施設や公園を作ったり、イベントを開催したりする
- ・空いている土地などに公園を設置したり、学校の校庭を開放したりする。
- ・ボールが使える公園を町中に作って、みんなで仲良くたくさん運動ができる町。
- ・アスレチックなど、子供が楽しめる遊具などを作ると良いと思います。
- ・いろいろな場所で遊べる町
- ・小さい子供も大人も行けるように公園に遊具やベンチを置く。

中学生

問 大人になっても「狛江」に住み続けたいと思いますか。

	票数	構成比
ずっと住んでいたい	35	9.3%
どちらかといえば住んでいたい	126	33.5%
どちらかといえば市外に引っ越したい	86	22.9%
市外に引っ越したい	60	16.0%
わからない	67	17.8%
未回答	2	0.5%
合計	376	



問 住んでいたい理由はなんですか。(2つまで選んでください。)

	票数	構成比
住みなれていて愛着がある	114	37.4%
家族と暮らし続けたい	45	14.8%
自然環境がよい	54	17.7%
交通の便がよい	28	9.2%
買い物の便がよい	17	5.6%
図書館や体育館などの施設が充実している	10	3.3%
レジャー・娯楽施設が充実している	0	0.0%
子育てしやすそう	15	4.9%
今後発展しそう	4	1.3%
防犯・防災など安心して住める	14	4.6%
その他	4	1.3%
合計	305	

問 引っ越したい理由はなんですか。(2つまで選んでください。)

	票数	構成比
ほかのまちに住んでみたい	89	34.4%
実家から離れてみたい	34	13.1%
自然環境がよくない	7	2.7%
交通の便がよくない	8	3.1%
買い物の便がよくない	27	10.4%
図書館や体育館などの施設が充実していない	12	4.6%
レジャー・娯楽施設が充実していない	38	14.7%
子育てしづらそう	4	1.5%
今後発展しなそう	27	10.4%
防犯・防災など安心して住めない	2	0.8%
その他	11	4.2%
合計	259	

問 「狛江」にこれからどんなまちになってほしいと思いますか。

		票数	構成比	前回順位
1位	ごみが少なく環境にやさしいまち	149	15.9%	2位
2位	近所の人や友だちとのふれあいが多く仲が良いまち	141	15.1%	9位
3位	犯罪や交通事故が少ない安心して暮らせるまち	141	15.1%	3位
4位	多摩川や野川、畑や公園などの自然が感じられるまち	105	11.2%	6位
5位	地震や台風などの災害に強い安全なまち	98	10.5%	7位
6位	バスや自転車で市内を移動しやすい便利なまち	74	7.9%	8位
7位	スポーツや外で遊べる場所が多いまち	69	7.4%	1位
8位	勉強したり室内で友だちと話したりできる場所が多いまち	45	4.8%	4位
9位	商店街などのお店が多くて活気があるまち	41	4.4%	5位
10位	絵や音楽に気軽にふれることができるまち	24	2.6%	10位
11位	その他	20	2.1%	12位
12位	狛江産の野菜や果物などがたくさん食べられるまち	17	1.8%	11位
13位	高齢者や障がいのある人がいきいきとすごせるまち	11	1.2%	13位

問 選んだまちになるために、あなたが思いつくアイデアがあれば詳しく教えてください。

【9 スポーツや外で遊べる場所が多いまち】（一部抜粋）

- ・屋内プールを作ってほしい！！夏でも日焼けなどの影響で入れなかったりするから。ほかにも冬などでも季節問わず、運動したい。（予約できるとよりいい！！！！！！）
- ほかにも体育館でボールを貸出したりしてほしいと思う！
- ・公園にする土地の利用を増やす
- ・人工芝のサッカー場を作る
- ・公園を多くする
- ・公園でのボール、バットの利用を可能にする。空き地を全て公園にする。多摩川にグラウンドを増やす。
- ・使っていない浄水場などの敷地を使う
- ・ボールが使える公園を増やす
- ・もっとバレーのコート増やしましょう。
- ・バスケットボールコートを作ってほしい
- ・空いている土地にスポーツ施設を整備する
- ・遊具などはなく、広々とした公園。
- ・グラウンドや体育館を増やす。

【狛江高校まちづくりに関するアンケート】

○調査概要

(1) 調査目的

令和7年度を計画開始年度とする「次期基本計画」を策定する上で、総合的な探求の時間において狛江市について学習した狛江高校3年生が狛江市が更に取り組むべきだと思う項目等を把握し、検討の基礎資料とするため、アンケートを実施した。

(2) 調査設計

- ・調査対象…狛江高校3年生
- ・生徒数……314人
- ・調査期間…令和5年9月11日～28日

(3) 調査項目

- ・住んでいる場所
- ・住んでいるまちは住みよいと思うか。
- ・将来、狛江市がどのようなまちであれば住んでみたいと思うか。
- ・総合的な探求の時間で取り組んだ分野
- ・狛江市が更に取り組むべきだと思う項目
- ・自由記述

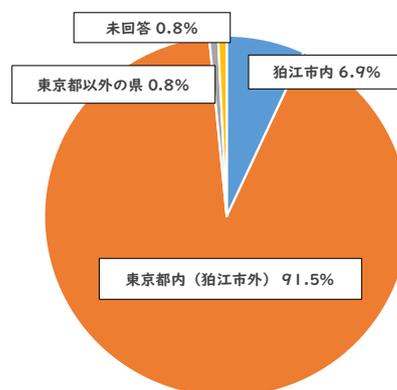
(4) 回答結果

260件（回答率82.8%）

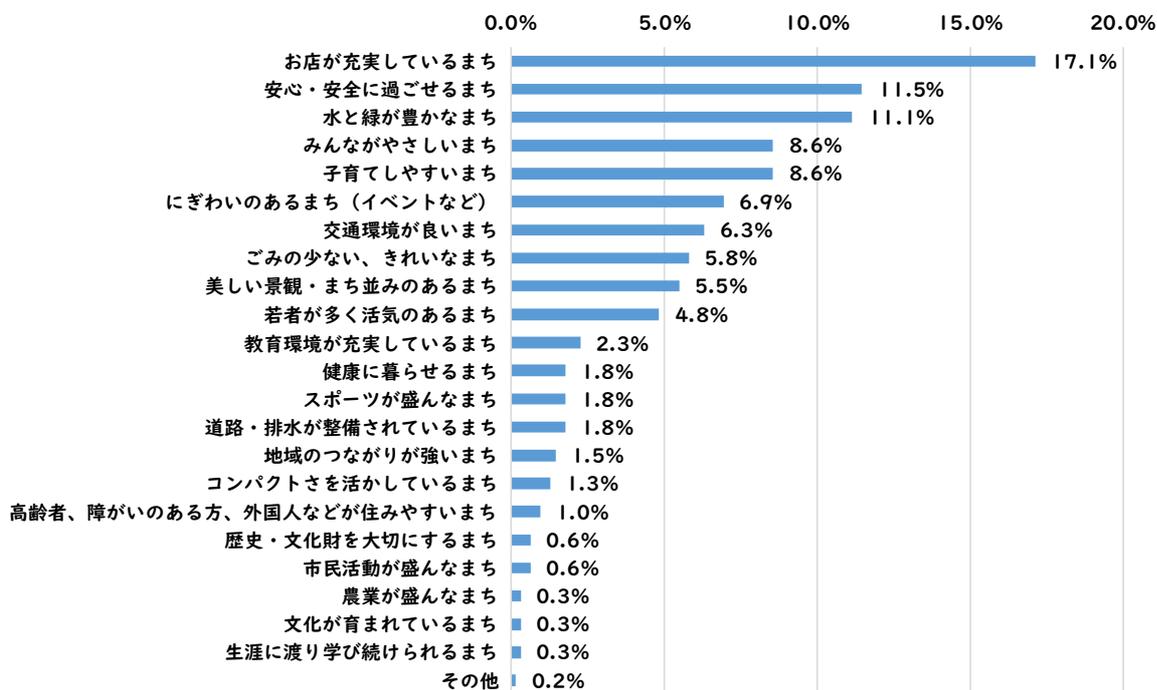
○調査結果

問 住んでいる場所を教えてください。

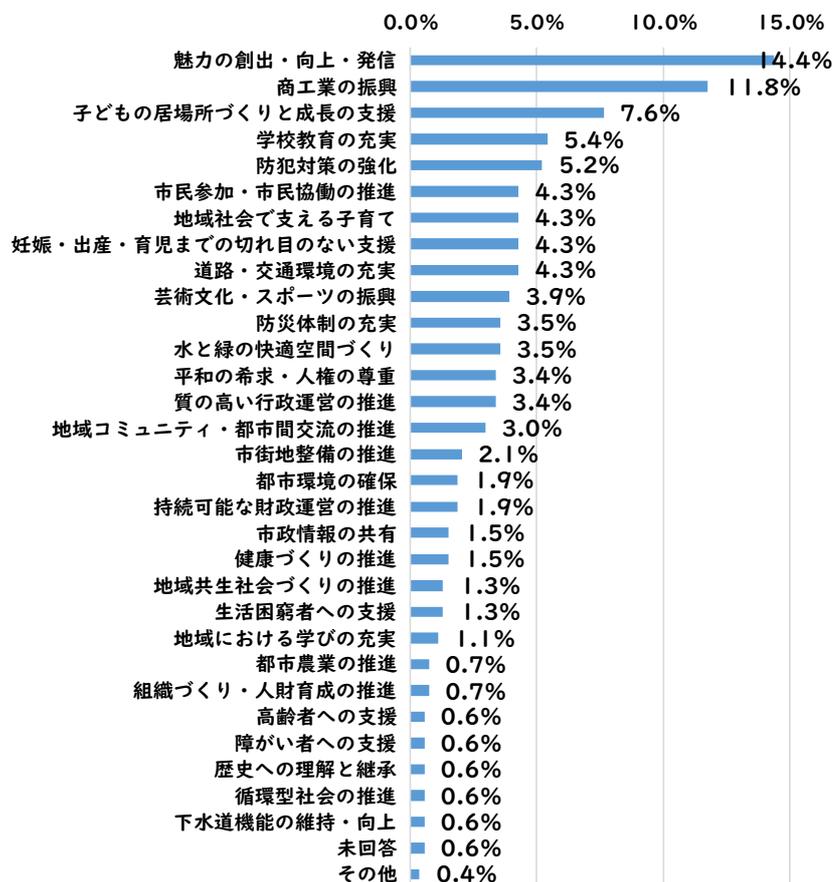
	回答数	構成比
狛江市内	18	6.9%
東京都内（狛江市外）	238	91.5%
東京都以外の県	2	0.8%
未回答	2	0.8%
合計	260	



問 将来、狛江市がどのようなまちであれば住んでみたいと思いますか。
(当てはまるものを3つまで選択してください。)



問 狛江市が更に取り組むべきだと思う項目を教えてください。



【狛江市基本計画策定に係る市民ワークショップ】

○ワークショップ概要

(1) 目的

市民が感じている狛江市の魅力・課題、住みたいまちの姿、市民・市（行政）ができることについて話し合い、狛江市後期基本計画策定に係る基礎資料とする。

(2) 開催日時・場所

令和5年12月16日（土） 狛江市防災センター

(3) グループ構成・人数

グループ	分野	人数
A	男女共同参画・多文化共生・参加協働、地域振興・農業・商工業	6人
B	防災・防犯・安心安全、自然環境・まちづくり	4人
C	子育て・教育・青少年	3人
D	保健・福祉・健康づくり	5人
E	生涯学習・芸術文化・歴史	4人

計 22 人

(4) プログラム

内容	時間
説明	20分
自己紹介	5分
①狛江市の魅力・課題について	40分
休憩	10分
②住みたいまちの姿について	45分
休憩	10分
③市民・市ができること	40分

(1) 狛江市の魅力・課題について

狛江市の魅力と課題についてグループごとにブレインストーミングにて話し合ってもらいました。※重複するもの、専門用語等の一部文言は整理しています。

E グループ (生涯学習・芸術文化・歴史)

魅力	課題
<p>《自然・雰囲気、市民の活動、願い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ のんびり、のどか ・ 駅前に緑がある (泉龍寺の境内) ・ 都会の割に空が広い ・ ごみごみしていない ・ 多摩川から見る富士山 ・ 平坦で移動しやすい ・ 多摩川、野川、野川緑道 <p>《利便性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元のお店が頑張っている ・ クラフトビールのお店が多い ・ 実は良いお店が！ (発見の楽しみ) ・ 狛江湯がHOT、注目されると嬉しい ・ 都心に出やすい ・ 全方位良い街に囲まれている ・ コンパクトな町 ・ バスロータリーがある <p>《規模と暮らしやすさ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンパクトな街なので知り合いが多い ・ 役所と市民が近い ・ 人がつながる ・ 動きが速い ・ コロナ対応が速かった <p>《未来》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい取組が多い <p>《歴史》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵手紙発祥の地 ・ むいから民家園 ・ 歴史がある、古墳がたくさんある 	<p>《インフラ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 狛江駅の北口はさみしい、南口はもう少し整理したい ・ 駅前ロータリーが空間の無駄に見える ・ 歩いていて面白くない・暗い、道が狭い ・ 市民センターが古すぎる ・ 駅から離れると自転車以外の移動手段が少ない ・ 狭い街に大通り占有率が高い ・ 樹木伐採 <p>《本当に魅力？》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 狛江で検索してもこれ！という景色がない・緑化率低い ・ 集まれる広い場所がない ・ 世代間で交流する場が少ない <p>《文化》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本屋さんがいない、本にアクセスできない ・ 音楽・芸術など発表できる場が少ない ・ 図書館をもっと充実させて欲しい ・ 芸術関係のアピールをもっとすべき ・ 美術館がない、市民向けギャラリーが欲しい <p>《未来への投資》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史を見せる伝える場所がない ・ 地域のことを調べる場所がない ・ 将来的に歴史を伝える人がいなくなる ・ 歴史遺産を活用できてない ・ 学生の自習スペースが少ない <p>《ビジョン・PR》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街が元気ない・店の回遊ができない ・ 店が少ない、魅力的な店が少ない ・ いろんな取組はあるが、まとまりがない ・ 魚屋がない ・ 有名な地元企業が少ない

(2) 住みたいまちの姿について

(1) の魅力と課題を抽出していただいた後に住みたいまちの姿とまちのキャッチフレーズをグループごとに話し合っていました。

E グループ (生涯学習・芸術文化・歴史)

住みたいまちの姿
<ul style="list-style-type: none"> ・つながれるまち ・呼べば集まるまち ・声が届くまち
キャッチフレーズ
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史から学び未来を見つめる掘れば出てくるまち

(3) 市民・市 (行政) ができることについて

(2) 住みたいまちの姿に向けて「わたしたち (市民) と市 (行政) ができること」について話し合っていました。

E グループ (生涯学習・芸術文化・歴史)

市民	行政
<p>《人にやさしい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困った人を助ける ・ゴミの削減 ・見て見ぬふりをしない社会 ・利他 <p>《PR》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外から人を呼ぶ ・SNSで狛江をPRする <p>《つながり》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同世代の人とのつながりを作る増やす ・趣味のグループ同士のつながりを強める ・他者を知ること ・学ぶこと <p>《ジブンゴト化》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き時間に市内に目を向ける (仕事と家族だけでなく) ・引き受けて考える ・自分ゴト化する <p>《才能を見つける・応援する》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内のミュージシャンの発掘とPR (コン 	<p>《教育・文化・ブランディング》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学を作る ・学びの場をつくること ・歴史を重要視する、市民に伝える ・未来を巨視する ・歴史を学び、体験することができる場を作る ・狛江の歴史文化を伝える教育 ・多摩地域の歴史シンポジウムを開催する ・子どもの学習、成果を発表・公開する場、イベントをつくる <p>《福祉》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療関係の充実 ・困りごとを抱えている人への積極的なアプローチ ・スポーツ施設を増設する ・人権が守られる社会 <p>《姿勢》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総花的な施策をやめる ・受身でなく先手に行く

<p>テストなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未知の人材を発掘する ・頑張る人を応援する ・狛江のアートのワークショップを開催する <p>《まちの活性化》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内のお店にお金を落とす ・狛江の店をなるべく利用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・変わり続けること ・長期ビジョンを具体的にする <p>《インフラ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて楽しい道づくり（市民アイデアを募り実装） ・緑と照明をプランニングからリトライ ・道を大事に、移動の楽しさ ・交通標識や道の装飾等 <p>《仕組み・街づくり》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広く魅力的な店の誘致 ・店舗物件を増やせるように大家さんに交渉 ・創業支援の仕組みを中長期的にする ・税収を増やす取組に力を入れる ・おいしいお店をつなぐバス（タクシー） ・用途地域を見直して様々な取組を支える ・ゴミ袋の廃止 <p>《歴史・掘り起こすこと》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内でまかなえる資源は活用する ・形式的な市民協働をやめる ・市内の活動に興味を持って踏み込む ・狛江銀座、大山参道など過去の歴史文脈を掘り起こす ・狛江公開夜間大学を開校 ・市民活動の紹介をもっと充実させる ・大人の小学校・中学校校舎の利活用 ・狛江フェスに代わる名前を考える、地名だけでなく狛江を想起させるものをつくる <p>《市民参加・広報PR》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らせること ・ギャラリーを開く、市民と一緒につくる ・対話を続ける ・プロジェクトの途中経過から公開、市民を巻き込み、積極的に！
--	---

1. 狛江市民センター改修基本構想策定の前提条件

1) 市民センター改修検討の経緯

令和2年度に「狛江市民センター改修基本方針」を取りまとめました。この中では、市民センターには図書館機能の一部を残し、別の場所に図書館を整備することとした上で、市民活動支援センターを市民センター内に移動すること、老朽化対応工事や公民館スペースを中心とした施設内のリノベーションを行うこととしています。

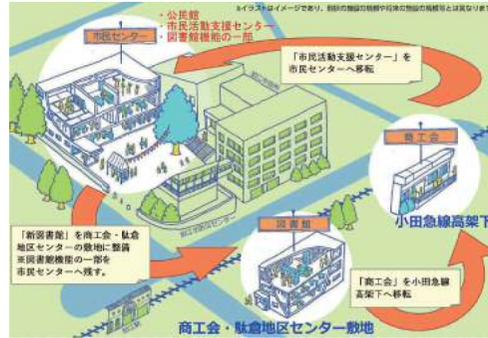
2) 市民センター・市民活動支援センターの現況

①市民センターの現況

市民センターは、市民の学習・文化活動の拠点として、自主的で多様な活動を援助するとともに、各種講座等の事業を年間にわたって展開しています。主に公民館機能、図書館機能などが複合する施設です。公民館機能としては、様々な学習会や会議に利用できる講座室、会議室、発表会、ダンスの練習などに利用できるホールなど、11室の貸出室が備えられています。

②市民活動支援センターの現況

市民活動支援センター（愛称「こまえくぼ1234」）は、市民と行政による協働のまちづくりを推進し、より良い市民生活の実現に向け、地域における課題の解決に資する取組を行う市民及び市民公益活動団体を支援するための活動拠点です。



▲市民センター新図書館等整備イメージ



▲市民センターの現況写真



▲市民活動支援センターの現況写真

2. 市民ニーズ等と市民センターの課題

1) 市民ニーズの把握

市民ニーズ把握のため、各種アンケート調査・ワークショップを実施しました。

①狛江市民センター（中央公民館・中央図書館）に関する市民アンケート	現市民センターの利用頻度は高くはない一方で、中央公民館をさらに充実すれば利用してみたいという意見が多く挙がりました。
②市民センター改修に向けたWebアンケート調査	現施設の課題としては、施設の暗さや共用部分でゆっくりと過ごせない、予約が取りにくいなどの意見が多く挙がりました。
③公民館利用団体向けアンケート調査	団体活動では10人以下の小規模での活動が多いこと、利用区分の時間枠未満での活動が多いという結果となりました。
④市民活動支援センター利用者向けアンケート調査	市民活動等の相談より、フリースペースの利用を目的に来館される方が多く、フリースペースの需要が高い現況です。
⑤福祉団体アンケート調査	ハード面の課題やバリアフリー面に関する意見等が挙がりました。
⑥市民ワークショップ	全7回実施し、フリースペースの充実やトイレの改修、子どもや親子連れなどの利用者への配慮などに関する意見や、改修後の施設のブロックプランに関する意見などが挙がりました。
⑦小中高生ワークショップ	友達と自由に会話しながら使えるフリースペース・学習スペースや、Wi-Fi設備の設置などに関する意見などが挙がりました。

2) 利用状況と課題

①市民センター（中央公民館）の利用状況と課題

これまで実施した市民アンケート、市民ワークショップ、利用状況調査等を基に、市民センターにおける主な課題を挙げ、その解決案を以下の3点に整理しました。

- 予約が混んでいるため、部屋を確保しにくい
- 共用部でゆっくり過ごせない（施設が暗く、閉鎖的である）
- 活動で利用できる時間枠を使い切れていない
- 用途に合った部屋が足りないため、別の部屋を使っている

- ・利用区分を分割して、利用（予約）枠を増やす
- ・利用状況の分析結果から需要の多い部屋を増やす
- ・開放的でゆとりのある共用部分をつくる

②市民活動支援センターの利用状況と課題

現在の市民活動支援センターの課題の一つとして、市民の認知度が低いことが挙げられます。現在の場所（小田急線高架下）では、他の施設とは独立していることから、ふらっと気軽に立ち寄りやすいことや、日によっては来館者が少ないことなどがあります。また、アンケート調査の結果からも何のための施設か知らない市民も多く、市民活動支援センターについての周知や情報発信を行い、市民活動の活性化につなげる必要があります。

3. 市民センター改修基本構想

1) 新しい市民センターの基本的な考え方

①基本方針におけるコンセプト <人生100年時代に向けた生涯学習と市民活動の連携>

基本方針では、人生100年時代に向けて、ライフステージに応じた多様な生涯学習の場が必要であり、そのために様々な団体の活動の場や市民と団体の交流の場づくり、団体間の連携や支援などを通じて、市民の自主的な活動を支援することにより生涯学習及び市民活動の充実を図ることとしています。基本構想においても、「人生100年時代に向けた生涯学習と市民活動の連携」を基本的な考え方としています。

②多くの人に愛される市民センターを目指して

「もっと便利に」「つながる」「学びの中心」を踏まえて市民センターを改修（リノベーション）します。また、子育て世代や若年層などの利用を促し、多世代の交流の場として、多くの人に愛される市民センターを目指します。

もっと便利に

利用しやすい空間となるような施設のリノベーションを行い、使いやすく親しみやすい市民センターを目指します。

つながる

誰もが訪れ交流したくなる、人がつながる市民センターを目指します。

学びの中心

人生100年時代に向けた生涯学習の場の充実と、地域コミュニティ活動などに関わる市民活動を目指します。

③市民センター改修における視点

・より多くの人に開かれ、すべての世代が集う施設整備

フリースペースを充実させるとともに、子どもや若者の居場所や学習スペースなど新たな機能を付加することで、より多くの人に開かれ、すべての世代が集う施設に整備します。

・施設と運営の両面による環境整備

施設を整備するだけでなく、運営面でも見直し、効率的かつ利便性を向上させることにより、多くの人が利用しやすい環境づくりに努めます。

・3つの機能の有機的な連携

公民館、図書コーナー、市民活動支援センターがそれぞれの役割を發揮しながら有機的に連携できるよう配置します。生涯学習と市民活動の相乗効果を図り、市民の生涯を通じた「学び」と「市民活動」を支援します。

ー未来をつなぐ図書館へー



第1章 構想策定の前提条件と現市立図書館の課題

1. 新図書館検討の経緯

令和2年度に狛江市民センター改修等基本方針を取りまとめました。この中では、市民センターには図書館機能の一部を残し、別の場所に図書館を整備することを示しています。

2. 狛江市及び市立図書館の概況

(1) 狛江市の概況と関連計画等

狛江市は全国で2番目に小さな市で、多摩川等の自然や「音楽のまち」「絵手紙発祥の地」等の特色を備えています。人口は近年緩やかに減少しており、今後は高齢化が着実に進行する見込みです。また、学校施設の更新時期を迎えることによる公共施設整備費の増大が想定されます。



市民センター新図書館等整備イメージ

(2) 市立図書館の概況

施設：中央図書館と西河原公民館図書室、4つの地域センター図書室（以下、「地域センター等図書室」とします。）で全域サービスを展開しています。築45年の中央図書館では大規模改修を行っておらず、設備の不具合や閲覧スペース・資料収容能力の不足等の問題が顕在化しています。

蔵書：市立図書館全体の蔵書は約30万冊で、うち約18万冊が中央図書館の蔵書です。地域センター等図書室では児童資料割合が高いほか、視聴覚資料やマンガを所蔵する等、市民ニーズをより強く反映した蔵書構成となっています。

サービス：子ども・障がい者等の対象別のサービスや、ICTを活用したサービスを展開しています。また、ボランティアの育成等に力を入れており、おはなし会事業や対面朗読サービス等に協力して取り組んでいます。

利用：市民の利用登録率は約26%で、児童資料の貸出が全体の40%を占め、増加傾向にあります。



中央図書館の現況写真

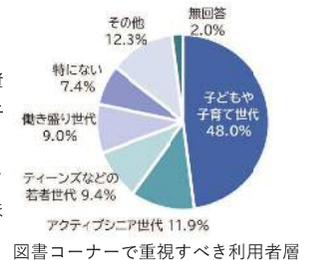
3. 市民ニーズ

(1) 市民 Web アンケート (244 票回収)

今後の市立図書館で特にできると良いことについては、「くつろいで本や雑誌を読む」「落ち着いて調べものや学習をする」(58.6%)、「子ども連れで気軽に訪れ、読み聞かせなどする」(32.0%)等へのニーズが高くなっています。改修後の市民センター図書コーナーで重視すべき利用者層としては、「子どもや子育て世代」(48.0%)が最多となりました。

(2) 市民ワークショップ (全6回)・小中高生ワークショップ

市民ワークショップでは、新設図書館に充実したレファレンスサービスや専門的資料、郷土資料、イベント、交流の場等が求められ、市民センター図書コーナーに子どもや障がい者向けのサービス、市民同士のふれあいの場等が求められました。また、それぞれが異なる役割を担うべきとの意見が見られました。小中高生ワークショップでは、自由な利用や滞在型の利用に必要な施設面の充実に関する意見のほか、運営に参画できる機会や交流の場の提供を期待する意見がありました。



図書コーナーで重視すべき利用者層

各施設の役割に関する参加者意見の概要（第3回市民ワークショップより）

施設名	役割
新設図書館	充実したレファレンス機能や専門資料／狛江に関する資料イベント・講演会等の会場／地域のサロンのスペース、自習室等
市民センター図書コーナー	子ども・子育て層向けサービス／にぎやかな読書空間 公民館・市民活動に資する資料の提供／市民同士のふれあいの場 サードプレイスの空間、予約本コーナー／障がい者向けサービス等



市民ワークショップの様子

(3) 関係団体等ヒアリング (図書館ボランティア・福祉関連)

関係団体等には、活動スペース、対面朗読室・音読室等の設置やバリアフリー対応等を望む意見が多いほか、利用支援サービスの充実や活動内容の周知、交流支援等を望む意見等がありました。

4. 敷地条件

新図書館整備計画地の敷地条件

所在地	東和泉1丁目 1937-1, 1937-3 (商工会・駄倉地区センター敷地)
敷地面積	585.45 m ²
地域地区	近隣商業地域(200/80)・第一種中高層住居専用地域(200/60) 30m・25m 第二種高度地区／準防火地域



位置図

5. 現市立図書館が抱える課題

- ① 幅広い層にとって利用しやすい環境づくり
- ② 音楽・絵手紙、自然等の魅力を活かしたまちづくりへつながるサービスの充実
- ③ 市民ニーズと将来展望の双方を踏まえた適切な蔵書規模・構成等の実現
- ④ 新設図書館の規模等を踏まえたより効果的な機能配置
- ⑤ 市民や地域との協働、他機関との連携の実現



第2章 新図書館整備基本構想

1. 新図書館を含む市立図書館全体のあり方

(1) 市立図書館が目指す方向性

サービス網の考え方

新設図書館と市民センター図書コーナー（改修後）で形成される新図書館が核となり、コンパクトなまちを活かしたサービス網を構築します。電子図書館の効果的活用も含め、既存の図書室や学校図書館と連携を図り、市全体で図書サービスの充実を図ります。



今後目指す姿



サービス等の考え方

サービス：資料提供・レファレンス・利用支援等の既存サービスの充実・周知を図るほか、ハイブリッドサービス、

セルフ貸出、まちの特色や歴史、課題に関連したサービス等に取り組みます。

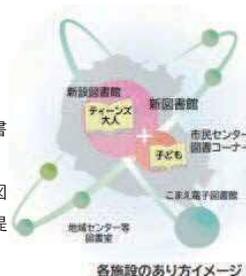
蔵書：サービス網全体で蔵書冊数を充実し、他市水準も踏まえて約33万冊以上を目指します。

機能配置：新設図書館と市民センター図書コーナーが機能分担しながら一体の新図書館を構成し、地域センター等図書室や電子図書館と一体的にサービス網を構築します。

(2) 各図書館・図書室のあり方

新図書館のうち、主に新設図書館が大人やティーンズ向けのサービス、市民センター図書コーナーが子ども向けのサービスを担います。

地域の本棚である地域センター等図書室や、いつでも誰でも利用可能な電子図書館が新図書館と一体となり、ハイブリッドライブラリーとして未来へつなぐ資料・サービスを提供していきます。



各施設のあり方

施設名	あり方
新設図書館	<ul style="list-style-type: none"> 市立図書館の中核としてサービスの企画や蔵書の構築等の各種活動に取り組みます 大人向けのサービスの拠点として、市民の知的好奇心を刺激する資料や狛江に関連する資料、レファレンスサービス、暮らし・仕事に役立つサービスの充実を図ります インバージョンライブラリー、アート・ティーンズライブラリーとして重点的に資料を提供します
市民センター図書コーナー	<ul style="list-style-type: none"> 子ども向けサービスの拠点として、親子が本にのびのびと触れられる場や機会を提供します 市民活動支援センターとも密に連携し、さらなる市民や地域との協働を進めます。また、市民センター機能を活用して利用者同士の交流等に資するサービス・スペースを提供します
その他	<ul style="list-style-type: none"> 西河原公民館図書室は、地域の本棚として地域に密着したサービスを提供するほか、西河原公民館の活動に関連した資料・情報等を提供します。地域センター図書室も地域の本棚として、地域のニーズに応えたきめ細やかな蔵書構成としていきます こまえ電子図書館は、いつでも誰でも使える図書館として、内容の拡充とさらなるPRを図ります

2. 新図書館の具体的なあり方

(1) コンセプト

新図書館は、市民一人ひとりが自分なりの何かを見つけられる場所、地域とつながることができる場所として、市民の笑顔が溢れる「小さなまちの宝箱」になることを目指します。

現在の市立図書館が抱える課題を解消し、宝箱としての魅力をより幅広い層へ届けるため、新設図書館と市民センター図書コーナーが一体となり、「招く・触れる (INVITE / TOUCH)」「遊ぶ・学ぶ (PLAY / STUDY)」「調べる・学びなおす (RESEARCH / RELEARN)」「届ける・伝える (OUTREACH / PR)」の4つの視点に基づく取組を進めます。



(2) 蔵書規模目標

蔵書冊数は市全体で約36.3万冊、新図書館（新設図書館と市民センター図書コーナーの合計）で約23.7万冊（新設図書館約17.2万冊、市民センター図書コーナー約6.5万冊）を目指します。

また、電子図書についても、タイトル数を約2万冊を目指すものとします。

施設区分		蔵書冊数(冊)
新図書館	一般開架	67,000
	閉架書庫	105,000
	計	172,000
	図書コーナー(絵本・児童資料・生活関連資料等)	26,000
	市民センター フリースペース等(新聞・雑誌・市民活動関連資料等) 市役所本庁舎書庫(絵本・児童資料等)	34,000
新図書館計	237,000	
西河原公民館図書室、各地域センター図書室		126,000
合計		363,000

各施設で想定する蔵書冊数